

豚繁殖・呼吸障害症候群の新たな診断方法の開発

研究期間	平成 22 年度～平成 24 年度
課題番号	2206
研究実施機関	(独)農業・食品産業技術総合研究機構(動物衛生研究所)
研究概要	豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)は、ウイルス感染により肥育豚の呼吸障害や、母豚の死流産などの繁殖障害を起こす伝染病で、世界各国の養豚業に大きな被害を与えています。ウイルスの遺伝子型は、北米型と欧州型に大別されるが、日本ではこれまで北米型のみが発生であったため、北米型の検査法とワクチンしか用意されていない。しかしながら、野外ウイルスの遺伝子解析で欧州型も存在することが分かりました。 このため、我が国の欧州型ウイルスの湿潤状況を調査し、北米型と欧州型を区別できる遺伝子検査法(PCR 法)や血清学的検査法(ELISA 法)を開発するための研究を実施しました。
研究成果の概要	欧州型 PRRS ウイルスの浸潤状況調査の結果、研究期間中においては、初発農場以外で欧州型ウイルスは確認されませんでした。 また、欧州型 PRRS ウイルス遺伝子を簡便かつ特異的に検出する遺伝子検査法(one step リアルタイム RT-PCR 法)を開発するとともに、欧州型 PRRS を診断するための免疫組織化学検査に用いる抗血清及び ELISA 法に用いる組換えタンパク質を作出しました。

(注)研究実施機関の名称は、研究終了時の名称を記載